### 福祉サービス第三者評価結果

#### ①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

# ②事業者情報

| 名称:    | アートチャイル                      | ドケア桶川 | 種別:       | 保育所 |        |         |
|--------|------------------------------|-------|-----------|-----|--------|---------|
| 代表者氏名: | 武藤 里佳                        |       | 定員(利用人数): | 80  | (60)   | 名       |
| 所在地:   | 〒 363-0023<br>埼玉県桶川市朝日1-27-3 |       |           | Tel | 048-77 | 78–1216 |

## ③評価実施期間

平成28年10月20日(契約日)~平成29年3月31日(評価結果確定日)

### 4)総評

### ◇特に評価の高い点

〇保育での子どもの様子を見てもらう機会をつくったり、参加しやすい行事を設定するなどの保護 者支援に取り組み、満足度を高めている

年度の初めに行われる保育参観は15時から行われており、その際にはおやつの試食をしてもらう機会としたり、全体保護者会をクラス懇談会にして保護者同士が話し合う機会を設けるなどの工夫をしている。また、平日に行っていた夏祭りの行事を土曜日に変更して、多くの保護者が参加できる機会とするなど、保護者目線で行事の見直しを行っている。行事の終了時には保護者アンケート調査を行い、結果を行事内容などの見直しに役立てている。また、2月に予定しているオープン参観は日常の保育を見てもらう機会にするなど、これらの取り組みが保護者の園に対する満足度を高めている。

○園長を中心に情報の共有・確認がなされており、アレルギー児への対応は事故を未然に防ぐよう に徹底されている

園長のリーダーシップ、指導力などにより、職員間での連携が活かされた保育園運営が進められている。職員伝達用ファイルや昼礼確認シートなどの独自の工夫もなされ、職員間での情報共有を丁寧に行い、保育活動に活かすとともに保護者とのコミュニケーションにつなげている。情報共有の媒体は出勤時や昼礼時に確認することを徹底しており、伝達忘れや確認の不備がないように心がけている。特にアレルギー児への対応は徹底されており、対応児に関するリストを作成し、前日の昼礼の際に翌日の給食内容を検討して、給食室、保育室、配膳時の3回に亘って口頭で確認を行って提供されている。また、各保育室にはアレルギー症状を疑うフロ―チャートも掲示され、誤配誤食による事故を未然に防ぐ対応がなされている。

#### ◇特にコメントを要する点

〇子どもが主体的に遊びを選択できる保育室環境についての学びと環境の工夫などの検討を期待し たい

各保育室には床暖房や空気清浄機、加湿器などが設置され、快適な保育室環境が用意されている。 日常の保育は戸外に出て体を動かす保育を大事にしている。子どもが過ごす保育室には棚の箱に入 れられたおもちゃや絵本などがあり、子どもの視界からは必ずしも見えやすい環境にはなく、保育 者の意図があって提供される環境になっている。特に乳児保育では発達上、探索活動が大事とさ れ、子どもが興味をもった時に手にふれたりできる環境が大事といわれている。保育園保育指針で いう環境を通して行う保育の大事な要素になるため、主体的に遊ぶことの意味やおもちゃの種類や 提供の仕方、保育者の関わり方などの学びを深め、環境設定などの工夫の検討を期待したい。

〇保育園の課題や保育活動への取り組みを検討し、職員の目指す保育、子どもたちの楽しい保育園 生活につながる中期計画の策定が望まれる

「3カ年経営方針」が明示されており、運営体制の強化、利益水準とのバランスを見ながらの待遇 改善、安全・安心を大前提とした高品質なアートチャイルドケアらしい保育と社会貢献が基本戦略 として定められている。経営方針を受けて、毎年度事業計画が策定され、年度末には事業報告書を 取りまとめ、事業の振り返り・反省などが行われている。また、園長の指導力・統率力などが発揮 され組織体制が整備され、本社担当マネージャーとの連携を活かした取り組みが進められている。 施設長と職員の連携・職員間の一体感を活かして保育園の将来像を見据えた中期計画の策定を検討 されたい。本社の3カ年経営方針を受け、全職員間での協議を行い、抱える課題やより具体的な保 育活動の進め方などを考慮して、園舎の室内空間を活かした保育への取り組みやおもちゃの整備、 提供の仕方や見せ方、保育に関する情報の伝え方などのさらなる工夫、リーダー層などの人材育成 など、具体的な取り組み・達成目標を盛り込んだ検討を期待したい。中期計画の実践が職員各自の 保育への思いの実現、さらなる子どもたちの楽しい保育園生活につながることが望まれる。

### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回2度目の受審となりましたが、全体として前回より良い評価が増えたことはたいへん嬉しく思 います。本園職員にとりまして何より自信と励みにつながりました。しかしながら、お子様を主体 としたより良い保育の実践や地域との関わり方等、まだまだ課題があるのも現実です。ご指摘いた だきましたことを真摯に受けとめ、職員皆が同じ方向を向いて改善に努めて参ります。 ご指導下さいました関係機関の皆様、お忙しい中アンケートにご協力くださいました保護者の皆様 ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果 別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり